

pure monologue

谷ノ上朋美 一人芝居

「ゆんたくしまししょうね」
学校公演のご提案

平和学習

沖縄戦

一人芝居

ABOUT THIS PERFORMANCE

「知識」ではなく「体験」として残る 平和学習の新しいかたち

■対象

中学生・高校生・大学生

■上演時間

本編 約75分 + アフタートーク15～60分（調整可能）／合計：約90分～
※質疑応答・グループワーク対応可

■費用

公演費用は、会場条件・人数・内容により異なります。
交通費・宿泊費（大阪より2名分）を別途いただきます。
※ご予算に応じたご提案も可能ですので、お気軽にご相談ください。

中学校・高校・大学での学校公演 全国各地で実施
沖縄修学旅行の事前学習/事後学習にも対応しています
行政主催の平和・人権啓発事業としてもご活用いただいております

電話受付窓口

株式会社プランニングハウス・ウエスト

TEL：06-6223-7776（平日10:00～16:00）

ピュアモノログ事務局

mail：contact@puremonologue.com



HP



PV視聴

作品介绍とあらすじ

■本公演について

本作品は、谷ノ上朋美自身をモデルとした、ほぼ実話の一人芝居です。単なる知識としての平和学習ではなく、「体験として記憶に残る学び」を目的としています。演劇を通して生徒一人ひとりの内面に問いを投げかけ、「命」「生きる意味」「他者とのつながり」を考える機会を創出します。平和学習にとどまらず、命の価値の再認識・自己肯定感の回復・他者への感謝・学びを他者へ伝える行動へとつながる、総合的な教育プログラムとして好評をいただいています。

■あらすじ

沖縄出身の母と大阪出身の父を持つ主人公「わたし」は、沖縄戦で家族をすべて失い、たった一人生き残った祖母のことを知ろうとする。しかし祖母は戦争の記憶を語ろうとしない。

「わたし」は沖縄戦跡ガイドツアーに参加し、現地を巡りながら戦争の歴史を辿っていく。その中で、「わたし」の意識は次々と当時の人々へと入り込み、戦争の過酷さを追体験していく。

ひめゆり学徒、軍人、ガマの中の母親——それぞれの立場で生きた人々の感情と、自分自身の人生の苦しみ为重なり合う中で「わたし」は問い続ける。「生きるとは何か」「命とは何か」。それは、戦争を知ることを通して、自分自身を知っていく物語でもある。

戦争体験者が少なくなっていく今、体験者から話を聞いた者が、自らの物語として芝居で語り継ぐ。それは、次世代への記憶のバトンを渡す、新しいかたちの継承です。



「ゆんたくしまししょうね」ならではのポイント

■この物語が届く理由

本作品の主人公「わたし」は、沖縄にルーツを持ちながらも、沖縄に住んだことのない谷ノ上朋美自身を重ねた人物です。

「わたし」は沖縄戦のことを何も知らないところから、少しずつ知っていく。

だからこそ、同じように沖縄のことをよく知らない沖縄県外の人を観る時、主人公と一緒に知り、感じ、問うという体験ができます。

「他人事」ではなく、自分ごととして自然に心を重ねやすいのが、この作品ならではの特徴です。

多くの学生さんが「自分ごととして心が動いた」と感想を寄せてくださり、学習意欲にもつながると好評をいただいています。

■一人芝居という、唯一無二のスタイル

一人の演者がすべての登場人物を演じる一人芝居は、演劇の世界でも珍しいスタイルです。

複数人の劇では役者ごとに人格が分かれていますが、一人芝居では同じ一人の人間が、ひめゆり学徒にも、軍人にも、ガマの中の母親にもなっていく。

役と役の「境界」が溶けることで、観客はそれぞれの人物を「他の誰か」ではなく「わたし自身」のように感じやすくなります。

また、脚本は1994年から続くOMS戯曲賞を最年少・女性初で2年連続受賞し、現在は同戯曲賞の最終選考審査員を務めている樋口ミュ氏（PlantM）が手がけています。

その芸術性の高さは演劇人からも高く評価されており、

「演劇鑑賞」としても見応えのある作品です。

一人でこれほどの世界を表現できるのかという驚きと感動が、生徒の心に深く刻まれます。

フットワーク軽く、体育館・講堂・公民館など会場を問わず対応できるため、

「演劇鑑賞」の予算枠でも申請しやすい点も好評をいただいています。



生徒の感想

“

一人芝居を見るのは初めてで、どのようなものなのか、理解できるかなと少し不安に思っていました。ですが舞台が始まった瞬間にその不安は消え、一気に谷ノ上さんのお芝居に引き込まれました。

今までは原爆が落とされた広島・長崎に関する平和学習が多く、沖縄戦について深く学ぶことはあまりありませんでした。ですが今回の舞台で、沖縄でも多くの被害や犠牲が出たことが分かりました。

谷ノ上さんのお芝居を見ることで、実際に戦争を体験したことのない私でも、当時の過酷さ、残酷さがありありと想像されました。

特に、おばあが家族一人ひとりの名前を読み上げる場面が印象に残っています。今自分が生きているのは当たり前ではなく奇跡なのだと感じました。

もし今日が人生最後の日だったら、家族や友達に感謝を伝えたいです。

“

明日も生きていることは当たり前だと思っていました。生まれてきたことも奇跡だし、今生きていることも奇跡だということを改めて実感することができました。

今の時期、どれだけ勉強しても心は満たされず、自信をなくしてばかりだったけれど、「生きているだけでいい」という言葉を聞いて、重かった心が一気に軽くなったような気がしました。

何気なく一緒に笑ってくれる友達に「いつもありがとう」と伝えたいです。

歴史は、繰り返さないために学ぶものだと思います。

人は、絶対にしないと決めていたことも、いつか忘れてしまいます。

沖縄戦の痛みや苦しみは、風化させないように、私たちが語り継がないといけないと思いました。

生徒の感想

“

資料や本、ガイドさんのお話だけでは、今日見て聞いて感じたような衝撃はなかったと思います。

私たちが沖縄で歩いた道は、砲弾が降ることもなく、ほとんどがアスファルトやコンクリートの道で、私たちが入ったガマには、血のにおいも、消毒液のにおいも、叫び声や泣き声もありませんでした。

谷ノ上さんが芝居として、動きや声の躍動をつけてくださったからこそ、こんなにも心に響いたのだと思いました。

「どうしてこんな簡単なことが、わからんかねえ」「簡単だからこそ、わからないんだろうねえ。忘れるんだろうねえ」という言葉が強く残りました。

そして、簡単なことほど忘れやすいからこそ、忘れてはいけないのだと思いました。

これからもこのお芝居を広めてください。伝わりました。

“

今まで複数人でする演劇は見てきましたが、一人芝居は初めて見ました。

「一人なので伝わりづらい部分があるかも」というお話でしたが、小道具を使ったり、声色や表情の変化からそれぞれの登場人物になりきっておられて、役の違いがとても分かりやすかったです。

また最後の挨拶で「人は生きているだけで意味や価値がある。それを伝えるためにこのお芝居をしている。」というお話にとっても感動しました。

これまで「人は生きているだけで価値がある」という言葉を聞いても、心のどこかで本当だろうかと思っていました。

ですが今回、人生の中で人は必ず誰かに影響を与え、また誰かから影響を受けて変わっていきけるのだと知り、改めて生きる意味を考えさせられました。

私自身、誰かに良い影響を与えられる人間でありたいし、人との出会いを大切にしたいと思います。

学校公演実績

一人芝居「ゆんたくしまししょうね」は、学校公演・平和学習・人権啓発事業として、全国各地で上演を重ねています。

学校公演実績

- ・2022年12月 立命館大学
- ・2023年10月 三重県立川越高等学校
- ・2024年03月 大阪府枚方市立枚方中学校
- ・2024年06月 大阪府枚方市立枚方中学校
- ・2025年05月 大阪府富田林市立第三中学校
- ・2025年05月 大阪府富田林市立金剛中学校
- ・2025年07月 大阪府富田林市立第二中学校
- ・2025年08月 大阪府富田林市立明治池中学校
- ・2025年10月 島根県立大学
- ・2025年11月 龍谷大学附属平安中学校
- ・2025年11月 大阪府富田林市立葛城中学校
- ・2026年02月 大阪府富田林市立藤陽中学校

富田林市では、沖縄修学旅行に向けた事前・事後学習の取り組みとして、教育委員会のもと市内中学校で継続的に実施されています。

また、複数回実施している学校もあり、単発の鑑賞機会にとどまらず、平和学習を深める継続的な取り組みとして導入いただいています。

平和講演会実績

- ・2025年6月 沖縄県うるま市立伊波小学校
- ・2025年9月 大阪府堺市立宮山台中学校
- ・2025年11月 大阪府富田林市立小金台小学校

行政主催 平和・人権事業での実績

学校公演に加え、行政主催の人権の集い、平和事業、地域事業などでも多数上演しています。

大阪府：富田林市、堺市、守口市、京都府：福知山
鳥取県：大山町 奈良県：宇陀市、吉野町など

公演実績

公演回数は2026年3月時点で86公演。

そのうち、沖縄県でも各地で公演を重ねており
南城市、那覇市、沖縄市、読谷村、宮古島、などで
23公演の実績があります。

プロフィール



俳優・講演家・カウンセラー：谷ノ上 朋美（たにのうえともみ）

短期大学卒業後、演劇活動を開始。
人権をテーマにした一人芝居の先駆者・新屋英子に師事し、全国を巡演する。

その後、身近な人の役に立ちたいとの思いから舞台を離れ、30代で看護師免許を取得。
ALSや筋ジストロフィー、がん患者の看護に携わる中で、自身も甲状腺がんを経験し、
「生きるとは何か」を深く問い直す。

看護師退職後は、漢方不妊カウンセラーとして西洋医学・東洋医学・心理学を統合した
カウンセリングを実践し、相談件数は2万件を超える。

2017年より演劇活動を再開。自身の体験と医療・カウンセリングの現場で出会った声をもとに、
いのち・平和・人権をテーマとした一人芝居を創作し、全国で公演を続けている。

一人芝居という独特な表現方法で自分自身の体験や出会った人々の経験から創作された舞台は、
真っ直ぐに心に響く舞台として共感を呼び、各作品ともに全国で再演を重ね、
演劇を通して「いのちの尊さ」「平和」「人の尊厳」を見つめ直す機会を届けている。大阪府出身。



脚本・演出：樋口 ミユ（ひぐちみゆ） PlantM

19歳で劇団Ugly duckling旗揚げ以降、解散までの劇団公演32作品の戯曲を執筆する。
OMS戯曲賞 最年少・女性初2年連続受賞。2019年より最終選考審査員を務める。
2024年より地域創造リージョナルシアター派遣アーティスト。

現在までに、数多くの一人芝居の脚本を手掛け、
舞台・ラジオドラマ・ワークショップなど全国で活動。
障がい者・生活保護受給者・子どもたちへの演劇活動も行う。

芸術性の高さは演劇人からも評価が高く、独特の世界観で見ごたえのある作品を多数輩出している。

■当日の流れ(午後公演の例)

09:00~12:00	搬入・設営・場当たり
12:00~13:20	休憩・開演準備
13:20~13:30	生徒入場
13:30~15:00	開演（※時間は調整可能）

本編は約75分です。アフタートークは15分~60分程度で調整可能です。
全体で最低90分程度のお時間をお願いいたします。
ご希望に応じて質疑応答やグループワークなどを取り入れることも可能です。
また当日までに、動画視聴による事前学習をお願いしています
(動画は当社にて用意します)

■学校側にご準備いただくもの

- ・延長コード（10m~20m）×2本
- ・長机1台（照明操作用）
- ・控室1室

出演者が開演まで待機できる場所をご用意ください（来場者と動線が分かれる場所が望ましいです）

詳細な準備マニュアル・事前学習資料は別途ご用意しております。まずはお気軽にお問い合わせください

■お問い合わせ

お問い合わせは、お電話・メール・HPよりお願いいたします。

（電話受付窓口）株式会社プランニングハウス・ウエスト
TEL：06-6223-7776（平日10:00~16:00）

ピュアモノローグ事務局
contact@puremonologue.com

株式会社ピュアモノローグ（公演依頼ページ）
<https://www.puremonologue.com/request>



公演依頼ページ



HP



谷ノ上朋美
Instagram